

中世韓国語のアクセント体系再考

Reconsidering the Middle Korean Accentual System

福井玲（東京大学）

本発表は15～16世紀の中世韓国語のアクセント体系について、次のような点を中心に考察する。

(1)資料の解釈のしかた、(2)アクセントのかかる単位、(3)体系の弁別的特徴、(4)その表示方法、(5)用言と体言のアクセントの対照、(6)句音調と規範性の問題、(7)人名のアクセント、(8)日本語のアクセントとの対照。筆者がかつて行った考察(福井玲(1985))に新しいデータを付け加えて、体系全体を考え直し、また、新たに日本語のアクセントとの対照を行う。